

パウロ（サウロ）のメモ

- 新約聖書の手紙：ローマ、1 コリ、2 コリ、ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ、1 テサロニケ、2 テサロニケ、1 テモテ、2 テモテ、テトス、ピレモン を書く。
- 12 使徒でない
- サウロからパウロと呼ばれ方が変わる（使徒の働き 13:9 から）
- タルソ生まれのユダヤ人（使徒の働き 22:3）
- 元ユダヤ教のパリサイ派律法学者の若手エリート（使徒の働き 22:3）
- 生まれながらのローマの市民権を持っている（使徒の働き 22:25）
- ファクリスタンキラー（使徒の働き 7:57-8-3 / 22:4-5/26:9-11）
- ダマスコへの道でイエスに声をかけられ、目が見えなくなり、その後アナニヤを通して「目からうろこが落ちて」目が見えるようになり、洗礼を受ける。異邦人、王たちへの伝道の器として主から選ばれる。（使徒の働き 9:1-9:22）
- 洗礼後アラビア，ダマスコに3年滞在（使徒の働き 9:23/ガラテヤ人への手紙 1:16-18）
- その後使徒たちと会い、初代教会の仲間となる。（ガラテヤ人への手紙 2:18/使徒 9:23-28）
- 3回の伝道旅行とローマへの護送旅行でイエスを世界に伝え、ローマの王の前でも証をする
- 1 回目の旅行：使徒 13:1-14:28
- 2 回目の旅行：使徒 15:36-18:22
- 3 回目の旅行：使徒 18:23-21:16
- 4 回目の裁判とローマ護送旅行：使徒 21:17-28:31